



第16回常任理事会

日時 平成22年11月9日（火）18：03～20：40
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、柳山・北野・渡邊・三戸・目黒・藤井・藤原・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科各常任理事、水元・中村・大口各監事（事務局：島影事務局長ほか12名）

協議事項

第1号 小規模自治体病院等看護職員派遣検討会委員の推薦に関する件（深澤常任理事）

北野常任理事を推薦することと決定。

第2号 民主党北海道との政策懇談会に関する件（深澤常任理事）

11月13日に開催される標記懇談会に提出する要望事項9項目と説明者を決定。

第3号 北海道医師会会員名簿の発行に関する件（深澤常任理事）

今年度の発行は見合わせ、次年度以降は隔年発行とし、掲載項目や体裁の見直しおよびデータ管理等について今後検討することと決定。

第4号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡邊常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座14件、道医認定生涯教育講座11件、合計25件を承認することと決定。

第5号 第2回郡市医師会長協議会の開催に関する件（深澤常任理事）

11月21日（日）午前10時から北海道医師会館8階会議室で開催する標記会議の提出議題を決定。

第6号 北海道医師会職員給与と規程等の一部改正に関する件（深澤常任理事）

人事院勧告に基づき北海道人事委員会が改定する給与表を平成22年12月1日から施行すること、期末・勤勉手当の年間支給月数を0.2ヵ月引き下げること、55歳を超える職員で6級以上の給与の抑制措置を行うこと、来年度から寒冷地手当を

1.2%引き下げること、平成22年4月1日から改定の実施日の前日までの改定相当分の減額措置を12月期末手当で調整すること等を決定。

報告事項

1. 第11回介護保険推進全国サミットinひがしうら [10月21日(木)・22日(金)・知多郡東浦町]について（前川常任理事）

10月21・22日の2日間、愛知県知多郡東浦町「あいち健康プラザ」で開催された。1日目は大島伸一国立長寿医療研究センター総長より基調講演「治す医療から治し支える医療へ」、続いて3分科会に分かれ、各々「医療は認知症とどう向き合うのか」「介護予防～最新の取り組みで健康長寿～」 「地域包括ケアの構築～ニーズ把握と地域資源の活用～」をテーマに意見交換が行われた。2日目は大森東大名誉教授のコーディネーターにより「介護保険制度改正に向けて～市町村がやるべきこと～」をテーマにパネルディスカッションなどが行われた。

2. 糖尿病講演会 [10月29日(金)・深川市]について（藤井常任理事）

当会をはじめ深川医師会など5団体が主催し、各関係団体、行政の共催・後援を得て開催した。医師、歯科医師、看護師、栄養士の講師4名により、病気の解説から合併症に至るまでの一連の流れを分かりやすく講演いただいた。参加者は239名であった。

3. 第16回日本保育園保健学会 [10月30日(土)～31日(日)・吹田市]について（三戸常任理事）

「子どもをはぐくむ保育の力～現場に役立つ赤ちゃんの秘密～」をメインテーマに大阪大学コンベンションセンターで開催された。1日目は基調講演、シンポジウム、特別講演Ⅰが行われ、終了後に交流会が催された。2日目は、一般演題30題（北海道からは北海道保育園保健協議会と札幌市乳幼児園医協議会よりそれぞれ1題、計2題）、会頭講演、ランチョンセミナー3題、総会、会頭招聘講演、招待講演、特別講演Ⅱが行われた。参加者は655名であった。次回は、平成23年11月12日（土）～13日（日）岡山市において開催予定である。

4. 第3回ほっかいどう健康塾 [10月31日(日)]について（藤井常任理事）

当会と読売新聞北海道支社等が主催し、北海道の後援による市民対象の講演会を札幌市内において開催。小職を含む主催者挨拶の後、「予防と治療～急性期医療から在宅療養まで～」と題して医療法人秀友会札幌秀友会病院理事長の藤原秀俊氏（当会常任理事）より、「リハビリテーション～急性期リハから生活期リハまで～」と題して同病院リハビリテーション科科長の杉原俊一氏より、それぞれ講演が行われた。参加者は231名であった。

5. 社会保険医療指導委員協議会[11月6日(土)]について(藤原常任理事)

「保険診療上のルールと指導・監査」「保険診療上の留意事項(内科系、外科系)」ならびに日医社保指導者講習会「厚生労働省からの伝達事項」(医療提供体制、社会保障からみる「在宅医療」の推進)について、小職と担当役員より出席各委員に対し説明し、本内容を管下会員に周知してほしい旨依頼した。また「日医社会保険診療報酬検討委員会・諮問事項(平成22年度診療報酬改定の評価)に対する意見」に関し、過日当会から各郡市・医育機関医師会に対し意見を求め、提出のあった意見を参考に、本委員会宛小職より意見提出したことを報告した。

6. 第2回社保対処費検討委員会[11月7日(日)]について(深澤常任理事)

委員長案が提出され、各ブロックの委員から意見を聴取し協議を行ったが、意見の一致をみなかったため採決が行われ、賛成多数で委員長案が可決された。

7. 日医各委員会報告

(1) 地域医療対策委員会[10月29日(金)]について(三宅常任理事)

神野委員から「地域医療のこれからを考える」、高橋委員から「既存のデータを用いて、地域の病院事情をどこまで把握できるか」と題した講演があり、その後、会長諮問についてのフリートーキングを行った。

(2) 日医「心に残る医療」体験記コンクール第二次審査[11月3日(水)]について(山科常任理事)

標記審査会が、広報委員会の委員8名により、東京都内のホテルにおいて開催された。審査の結果、38編(一般の部:21編、中高生の部:8編、小学生の部:9編)を選出した。今後、11月25日の最終審査により、[一般の部]は、日本医師会賞、厚生労働大臣賞、読売新聞社賞、アフラック賞各1名、入選6名、[中高校生の部][小学生の部]は、それぞれ最優秀賞1名、優秀賞3名の受賞者を選出し、平成23年1月27日に表彰式を行う予定である。

(3) 生涯教育推進委員会[11月4日(木)]について(渡邊常任理事)

平成21年度日医生涯教育制度申告集計結果の概要および日医生涯教育協力講座セミナー実施等の報告、続いて、都道府県医師会主催の指導医のための教育ワークショップ、予定されている日医生涯教育協力講座セミナーの実施について承認があった。また、「総合医」「総合診療医」に関する当委員会の共通理解などを議題として意見交換が行われた。

(4) 男女共同参画委員会[11月5日(金)]について(藤井常任理事)

女性医師支援センター事業ならびに男女共同参画フォーラムの内容等について検討を行ったほか、答申に対する議論では「医師の働き方に対する提言」をテーマに意見交換を行った。

8. 外部各委員会報告

(1) 北海道航空医療ネットワーク研究会第2回役員会[10月30日(土)]について(目黒常任理事)

9月6日から10月5日まで行った医療優先固定翼機(通称:ドクタージェット)の研究運航についての実績が報告された。なお、報告書は今年度中に作成することとしている。

9. 中央情勢報告(直江常任理事)

政府の行政刷新会議「事業仕分け第2弾」で指摘された医療、福祉関係の事業の内容について説明するとともに、今回、「事業仕分け第3弾」として、再仕分けの対象となった事業についてと、日医をはじめとする四病院団体協議会の対応などを含めて報告した。

10. 各部報告

(1) 第7回総務部・財務部合同担当理事会[10月26日(火)]について(深澤常任理事)

医師会館の中長期保全計画、日医「会員の同一都道府県内の郡市区等医師会間の移動に伴う入退会手続き」に関する意見提出、会員名簿について今年度の発行中止と新規加入会員への対応、「業務及び財務等に関する資料」の当会ホームページ掲載について、また医師会事務局を対象とした「公益法人制度改革に関する勉強会」の開催について協議した。

11. その他

(1) 第1回北海道在宅医療推進フォーラム[11月3日(水)]について(藤原常任理事)

11月3日(水)、札幌市医師会館において北海道では初めての第1回標記フォーラム「多職種協働で支援する在宅医療」が開催された。開会挨拶に続き、当会の三宅副会長より来賓挨拶が行われた後、基調講演、シンポジウムが行われた。参加者は500名を超え盛会であった。

(2) 医政講演会について(直江常任理事)

12月4日(土)に開催される標記講演会への参加呼びかけがあった。

道総医協関連事項(三宅副会長)

1. 第1回看護対策小委員会[10月27日(水)]について(北野常任理事)

委員長に小職、副委員長に道看護協会会長・平山委員が選出され、その後「助産師外来実践能力向上研修支援事業」や本年度の「看護職員確保対策」(特に予算関係)の概要、「第七次看護職員需給見通し」の公表までのスケジュールについて、説明がなされた。

第17回常任理事会

日時 平成22年11月22日（月）18：30～20：27
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、宮本・畑各副会長、榊山・北野・渡邊・三戸・目黒・藤原・深澤・橋本・前川・水谷・山科各常任理事、水元・大口各監事
(事務局：島影事務局長ほか12名)

協議事項

第1号 平成23年北海道医師会新年交礼会の開催に関する件（深澤常任理事）

平成23年1月6日（木）午後6時30分から札幌グランドホテルで開催と決定。

第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡邊常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座9件、道医認定生涯教育講座12件、合計21件を承認することと決定。

第3号 その他

- 12月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

1. 医療安全研修会[10月7日(木)・函館、29日(金)・網走]について（橋本常任理事）

函館と網走で「背景要因RCA分析」の研修会を開催し、参加人員は95名であった。当日のアンケートの結果によると、クレーム対応や転倒・転落などを取り上げてほしいなどの要望があり、次回の研修会に提供できるような事例を検討したいと考えている。

2. 医療事故・紛争対応研究会第5回年次カンファレンス[11月7日(日)・福岡]について

(橋本常任理事)

九州大学医学部百年記念講堂で開催され、院内検証をテーマに、北大の南須原康行准教授、呉医療センターの上池渉病院長、日本経済新聞社の前村聡記者から、それぞれの立場からの医療事故の検証について講演があった。午後の部では「新たな時代を迎えた脳死臓器移植と現場対応」と題して、神戸大学の丸山英二氏、日本臓器移植ネットワークの小中節子氏、大阪大学の福嶋教偉氏から移植医療の現在、未来、展望について講演が行われた。

3. 民主党北海道との政策懇談会[11月13日(土)]について（宮本副会長）

長瀬会長ほか10名の役員が出席し、地域医療の確保、予防接種、看護職員および実習施設の確保・充実など、医療政策に関する18項目について要望し、民主党北海道の荒井代表をはじめ北海道選出の衆・参議員と意見交換を行った。

4. 糖尿病講演会[11月13日(土)・八雲町]について（橋本常任理事）

当会をはじめ渡島医師会など5団体が主催し、各関係団体、行政の共催・後援を得て開催した。医師、歯科医師、看護師、栄養士の講師4名により、病気の解説から合併症に至るまでの一連の流れを分かりやすく講演いただいた。参加者は88名であった。

5. 第60回全国学校保健研究大会[11月18日(木)～19日(金)・前橋市]について（長瀬会長）

「生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進－健康的な生活習慣や安全のための行動を実践できる子どもの育成－」をメインテーマに群馬県総合スポーツセンター「ぐんまアリーナ」で開催された。1日目は開会式・表彰式に続き、社会福祉法人恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所副所長の衛藤隆氏より「これからの健康教育の展望」と題する講演が、2日目は、10題の課題別研究協議会が行われた。参加者は1,212名であった。次回は、平成23年10月27日（木）～28日（金）静岡市において開催予定である。

6. 第41回全国学校保健・学校医大会[11月20日(土)・前橋市]について（三戸常任理事）

「地域ぐるみで支え合おう子どもの健康と安全」をメインテーマに群馬県民会館「ベイシア文化ホール」で開催された。午前中は5分科会が行われた後、午後から都道府県医師会連絡会議、開会式・表彰式に続き、「学校におけるアレルギー疾患の現状と取り組み」をテーマとしたシンポジウムが行われた。参加者は717名であった。次回は、平成23年10月29日（土）静岡市で開催の予定である。

7. 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会[11月19日(金)]について（北野常任理事）

全国医師会勤務医部会連絡協議会（宇都宮市）ならびに勤務医の健康支援に関するプロジェクト委員会の報告があり、協議では「勤務医の視点からの医師会改革」をテーマに、都道府県医師会からの勤務医活動報告として①秋田県医師会から「秋田県医師会勤務医委員会の活動について」、②新潟県医師会から「新潟県医師会の勤務医活動報告」、③宮崎県医師会から「宮崎県医師会勤務医部会について」の発表、質疑応答があった。また、研修医を含む若手勤務医への日本医師会の対応等について意見交換が行われた。

8. 第17回日本航空医療学会総会[11月19日(金)・20日(土)]について（目黒常任理事）

手稲溪仁会病院救命救急センター・高橋功先生が学会長となり「ヘリコプター救急の未来」をテーマに札幌市で開催された。文化講演、招待講演、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション、一般演題等が行われ、約550名の参加があった。また、2日目の午後には、市民公開講座「北海道におけるドクターヘリの現状と将来」が行わ

れ、約100名の参加があった。

9. 日医生涯教育協力講座セミナー「感染症の予防と治療・呼吸器感染症を中心として」[11月20日(土)]について (渡邊常任理事)

午後2時から5時40分まで、ホテルさっぽろ芸文館において開催した。出席者は242名。前半のセミナーでは、3人の講師により、成人市中肺炎の予防と治療戦略として各々「診断」「治療」「症例検討」について講演が行われた。後半は特別講演として、東邦大学医学部医学科衛生学講座・杉田稔教授より「インフルエンザ対策の新たな展開」、京都大学大学院医学研究科臨床病態解析学講座・一山智教授より「実地医家に求められる感染制御－呼吸器感染症を中心として－」の2講演が行われた。

10. 日医理事会報告 (長瀬会長)

厚労省第13回社会保障審議会医療部会の件、内閣官房第3回医療情報化に関するタスクフォースの件、厚労省第7回チーム医療推進のための看護業務検討ワーキンググループの件などの検討状況について報告の後、日医職員の給与改定案の件が承認された。また、その他として、労災保険診療費審査業務の国への集約化の件についての話題があった。

11. 日医各委員会報告

(1) 救急災害医療対策委員会[11月4日(木)]について (目黒常任理事)

日本版救急蘇生ガイドライン2010および一般救急と精神科救急の連携における諸課題等を中心に議論した。

(2) 会長選挙制度に関する検討委員会[11月17日(水)]について (長瀬会長)

前回までにこれまでの制度の問題点について検証を行い、3回目となる今回より改善方法につき協議を開始した。次回までに委員会としての意見をまとめる予定である。

(3) 介護保険委員会[11月18日(木)]について (前川常任理事)

はじめに、宇都宮厚労省老人保健課長より「医療と介護の連携」をテーマとした講演があ

り、続いて三上常任理事より社会保障審議会介護保険部会・介護給付費分科会の審議状況報告が行われた。また同常任理事より、厚労省老人保健健康増進等補助事業「要介護認定における主治医意見書の記載方法等に関する調査研究」において実施されるアンケート調査への協力依頼があった。アンケート対象が各県1地域医師200～250名などであることから小職の地元である旭川市医師会で対応したい。

(4) 日医ニュース編集WG[11月18日(木)]について (山科常任理事)

標記WGの第4回会議が開催され、TV会議システムにより参加した。最初に新井座長ならびに野津原委員長から挨拶があり議事に入った。協議では、最初に12月分の「日医ニュース企画案」を確認し、『日医ニュース』ブラッシュアップについて、前回に引き続き座長提出の案に基づき検討した。文字数の多い記事には見出しを付けることと、記事中のテクニカルタームに解説を付けることを決定した。また、勤務医を対象とした記事の充実についてディスカッションを行った。

12. 外部各委員会報告

(1) 北海道職業病対策協議会[11月17日(水)]について (畑副会長)

道内における職業性疾患の状況および対策などに関して、各委員の所属する団体での取り組み状況が報告された。その後、本道におけるメンタルヘルス対策の推進について、意見交換が行われた。

(2) 北海道救急搬送交通アクセス向上連絡会議[11月18日(木)]について (目黒常任理事)

救急搬送における医療機関への交通アクセス上の諸課題や搬送時間の短縮に向けた先進事例を把握するため、消防機関、救命救急センターおよび地方・地域センター病院、他都府県の道路管理者を対象に実施するアンケートの調査内容について、協議を行った。